



【味生第二小学校】

＜第3学年：味生Ⅱの名人さんに弟子入りしよう＞

今年度、1学期の総合的な学習の時間に子どもたちは地域探検を行い、地域に住む様々な場所や人と交流した。このことから、「地域には自分たちが興味のある活動の名人がいるのではないか」という好奇心から名人さんを探すことにした。そして、公民館には将棋やこまの名人さんがいることを発表し合い、最終的に、将棋やこま回し、俳句作り、そろばん、ちぎり絵、絵手紙、習字の名人さんを学校に招き、弟子入りする活動を行った。

1回目は、自己紹介などを中心に子どもたちが知りたいことを名人さんに聞きながら試してみたり、質問したりしながら理解や技能を習得することができた。2回目は、2週間後に設定し、その間、同じ名人さんに弟子入りした友達同士で情報交換をしたり、練習を重ねたりする時間を設



【将棋名人さんとの交流】

定した。その結果、11月末の交流会では、こつをつかみ名人さんに近づき、弟子入りした技を高めたり、地域の方や友達と活動を楽しんだりすることができた。

特にこま回しや将棋は、休み時間に名人さんから習った技を友達に披露したり、自主的に教えて楽しもうとしたりする様子が見られた。また、俳句作りを生かして自主学习で行ったり、絵手紙を年賀状にかいたりする子どももおり、自分の生活の中に生かしている子どもも見られた。

本事業の成果として、地域を基盤とした学習に基づくことで、子どもたちの興味・関心が深まったことや自分たちが見つけた名人さんが学校に来て教えてくれるという達成感を味わい、主体的な質の高い学習につながったと考えられる。また、地域には高い技能をもった人たちが大勢いること知り、地域への愛着や誇りが高まってきていることが子どもたちのまとめのプレゼンテーションや学習の振り返りから感じ取ることができた。

地域を探検し、地域の方と交流することで、地域のひと、もの、ことへの興味が高まり、地域が大切にしている「まごころ」を合言葉として、よりよい地域の一員として心身ともに健全に育っていくことができるようこの事業を見直し、さらに改善を図っていきたいと考える。